



巻頭特集

待ち時間の緩和へ、 新システム導入。外来での「予約診療」を開始しました。

このたび、外来診察に一部予約制を導入することになりました。患者様がいらっしゃる時間と人数の把握、事前の準備などにより、診察の流れをスムーズにすることを意図しております。もちろん、予約をしていない日の受診も可能ですので、体調に不安のある方もご安心ください。

しばらくの間は、調整期間として細かな変更を加えながら実施していく、最終的に当院の環境に最も合った予約システムにしていきたいと考えております。ご意見・ご要望等がございましたら、お気軽にスタッフまでお知らせください。なお、詳しい内容につきましては、受付に設置したパンフレットにてご確認ください。

愛心メモリアル病院
理事長 高橋順一郎

- エッセイ 「遙かなる舌の喜び」 愛心メモリアル病院 副院長 河野總子
- 栄養室からこんにちは 夏バテ対策にこの一品「とうふサラダ」の作り方
- 検査室から 心臓疾患検査の種類
- 臨床工学技士から 皆さんは「臨床工学技士」をご存じですか？
- 訪問看護ステーション「あいしん」だより 訪問看護婦のお仕事拝見

医療法人社団愛心館

愛心メモリアル病院 あいしん

エッセイ



愛心メモリアル病院 副院長
河野總子

栄養室から こんにちは

①豆腐

“畑の肉”とも呼ばれる大豆を主な原料とする「豆腐」。大豆の栄養的特長を受け継ぎ、必須アミノ酸をバランスよく含んだ良質のタンパク質をはじめ、コレステロールを代謝するリノール酸、ビタミンB1、ビタミンE、カルシウム、カリウムなど、豊富な成分がぎっしり詰まっています。また、大豆オリゴ糖が主成分になっている糖質も含まれており、腸の働きを整えて活性化させ、消化吸収を助ける作用を持っています。夏バテの時など胃腸が弱った時に豆腐が良いと言われるのはこのためで、栄養補給のほか、機能が低下した胃腸をやさしくサポートし、食欲を増進させてくれます。

②枝豆

ビールのつまみとしてもお馴染みの「枝豆」。大豆を未成熟なうちに枝ごと収穫した枝豆は、大豆同様栄養価が高く、良質のタンパク質や

「遙かなる舌の喜び」

尾崎紅葉が「多情多恨」の中で述べている言葉に『家庭なるものの快楽が十とすれば、少なくともその四は膳の上になければならない』というのであり、メレデスという人は、さらにストレートに『接吻は続かない。料理は続く』と、結婚生活に必要なものは、才気よりも痒いところに手が届く気配りにある事を強調している。

もちろんそれは夫婦お互いに必要な事と思われる。そして、両者ともにその例えを、舌の喜びに例えているところをみると、洋の東西をとわず料理上手は、人生という長い年月の中では最大の財産を持っている事になるようである。

この事に触発されて、療養生活中も舌の喜びを味わって頂きたいと考え、「先ずは、いきの良い食材を手に入れる」ことが重要であるとして中央市場への買い出しを始めて一年が過ぎようとしている。

早朝の中央市場は活気に満ちており、人々の何と魅力的に見える事か。お祭りのときに神輿を担いでいる男性が魅力的に見えるのを遥かに上回っている! お魚も「イキ」が良く、中にはビニール袋の中で泳いでいるものもある。普通のお魚屋さんでは「イキ」の良い魚を選ぶ事に自信のあった私も、みんなが良いのでさっぱり役に立たない。少しづつではあるが解るようになってきたこのごろではあるが、他の事も解ってきた。ひとつは、健保適応の診療体制の中では基準給食という枠の中でしか食事を提供できない。二つめには、厨房職員の労働強化に繋がってしまう事。三つ目には、あらかじめ予定していた献立通りにはお魚は入荷してこない事。四つめに、市場へのお魚の入荷は、天候に左右される等々である。

舌の喜びの追求は、まだまだ長く険しいものであり、始まったばかりと言える。当院での治療生活の中の「最大のサービスポイントである」と評されるように頑張りたい。



夏バテ対策にこの一品「とうふサラダ」

夏ももうすぐ。燐々と降り注ぐ太陽が恋しい反面、夏バテが心配な季節でもあります。夏バテの魔の手から逃れる早道は“タンパク質”を取ること。今回のこのコーナーでは、胃の粘膜を保護しつつ、タンパク質を補給し、夏に負けない体をつくってくれる『とうふサラダ』をご紹介します。まずは、タンパク質を豊富に含む食材のご紹介から。

ビタミンB1、B2、ビタミンC、カルシウム、食物繊維などを多量に含み、夏バテの原因とも言える食欲不振からくる栄養不足を解消してくれます。良質のタンパク質とビタミン群の両方を同時に補給することができる「枝豆」は夏バテ防止に最適の緑黄色野菜です。

③トマト

その真っ赤な姿を見ただけで、元気になりそうな「トマト」はナス科の植物。トマトには豊富なビタミンCが含まれており、細胞と細胞をつなぐコラーゲンの生成により、高血圧で老朽化した血管を丈夫に保ってくれます。ミネラル類ではカリウムが大活躍。血液中の塩分を排出してくれる所以血圧低下に役立ちます。完熟のものはビタミンCなどの栄養素も豊富です。ちなみに、完熟トマトを使用した市販のトマトジュースも栄養面では遜色ありませんが、食塩が加えられているものだと、せっかくの血圧降下作用が半減してしまいますから要注意。

■「とうふサラダ」の作り方

材 料 (2人分)	とうふ	1/2丁
	キュウリ	1/4本
	トマト	1/2個
	ワカメ	適量
●ドレッシング	しょうゆ	小さじ1弱
	ごま油	小さじ1/2
	みりん	小さじ1/2
	だし汁	大さじ2/3

[作り方]

豆腐を食べることでタンパク質の補給になるほか、海藻と野菜などで食物繊維を取ることができます。サッパリとした夏の一品です。

- ①キュウリを千切りにする。
- ②しょうゆ、ごま油、みりん、だし汁でドレッシングを作る。
- ③冷やした豆腐の上にキュウリ、ワカメをのせてトマトを飾る。
- ④ドレッシングをかけて出来上がり。

検査室から

適切かつ効果的な治療を行なっていくためには、患者さんの心臓の状況を正確に認識することが不可欠です。心臓疾患を診断するための主な検査には、心電図検査、胸部X線検査、心臓超音波検査（心エコー検査）、心臓カテーテル検査などがありますが、今回はその中から、超音波を使った「心エコー検査」をご紹介します。

心エコー検査は、心臓がダイナミックに動いている様子を、そのまま画面に映し出すことにより、心臓の壁の動きは良好か、弁の開き具合はどうか、などを手に取るように観察することができる超音波を使った検査です。心エコー検査で使用する超音波は、人に聞こえないくらいの高い音で、真っすぐに進む性質と、反射

・屈折する性質を持っています。この超音波を体表から心臓に向かって発信し、反射してくる超音波を受けて画像データに置き換えていくわけです。

さらにこの検査では、超音波を利用して心臓内の血液の流れを映し出すことが可能で、これによって、心臓の中を流れる血液は正しい方向に流れているか、「弁膜症」のように心臓弁から漏れ出る血液の流れは見受けられないかなどを判断することができ、診断を行なっていくための多くの情報を入手することができます。

ところで、超音波の使用は体に害があると思っている方がいらっしゃるようですが、それはまったくの誤り。超音波は通常の音と何の変わりもありませんから、痛みもなく、もちろん、体に害を与えることは一切ありません。その点では、心臓の活動によって起きる微小な電気を機

械で拾い出し、波形に表す心電図検査も同様です。私たち検査室スタッフ一同、患者の皆様が安心して検査を受けていただけるよう、これからも努力していくたいと考えておりますので、検査に対する不安や疑問、質問などがありましたら、遠慮なくお気軽にお申し出ください。

※次回は「心臓カテーテル検査」をご紹介します。



臨床検査技師左から福田 小弓、中川 由紀、大岡 高志(主任)、片岡 誠治、田中 寛尚

皆さん「臨床工学技士」をご存じですか？

病院内には、さまざまな職種のスタッフが勤務していますが、一般に、国家資格を有する医療職種としてイメージされる職種と言えば、まずは医師と看護婦（士）で、その次に、薬剤師、放射線技師あるいは検査技師があげられるのではないかでしょうか。「臨床工学技士」をあげる人はおそらく少数派で、さらに「名前は聞いたことがあるが、実際にどんな仕事をしているかについてはよく知らない」という方がその大半でしょう。そこで今回は、私たち臨床工学技士の仕事についてお話をしたいと思います。

愛心メモリアル病院が開院して13年になりますが、「臨床工学技士」は今から11年前の1988年（昭和63年）に『医師の指示の下に生命維持管理装置の操作及び保守・点検を行うことを業務とし、もって医療の普及及び向上に寄与すること』を目的に誕生した医療技術資格で、約10年という歴史を経て、最近ようやく一般的

にも認知されるようになりました。上記の“生命維持管理装置”とは、人の呼吸・循環・代謝といった生命の維持に直接つながる機能を代行・補助する装置のことをいい、具体的には下記のような機器や装置を指します。

- ①呼吸に関連した機器（人工呼吸器、高圧酸素治療装置など）
- ②循環に関連した装置（人工心肺装置、心臓ペースメーカーなど）
- ③代謝に関連した装置（人工透析装置、血液濾過装置など）

これら機器を正確かつ安全に動かし、使用後の点検・修理などを綿密に行なうことが臨床工学技士の大きな役割。近年の先進医療の急速な進歩とともに、使用する機器についてはもちろんのこと、臨床現場における対応についても幅広い知識を要求され続けています。

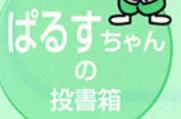
現在、当院の臨床工学技士は3名。医学と工学の接点に存在する臨床工学技士は

臨床工学技士から

今後さらに必要性が高まるとの自負の下、当院の基本方針である「患者様中心の医療」を実践するためチーム医療に参画しております。3人共通のモットーは「患者様の安心と安全を第一に考え、仕事は速やかに、そして綺麗に！」。チーム一同これからも今まで以上に頑張っていきたいと考えております。



臨床工学技士
左から
中野 真
佐々木 信一
(主任)
本吉 竜浩



■前号でご紹介した投書に関する経過報告

①「診療の待ち順番を表示する」件について

5月末より、外来診療室の入口に、現在診療中の患者様の受付番号（受付け時にお渡ししている番号札の番号）の表示を始めております。検査の内容等により順番が多少前後する事があるものの、「順番の目安があるので、待合室を離れる際などに便利」など概ねご好評をいただいております。今後さらに改善点などございましたら、お気軽にお申し出ください。

②「患者様が意見を発しやすい環境を作る」件について

患者様からのご意見は大歓迎です。残念ながら全てのご要望にお応えすることはできませんが、当院の診療環境を向上させていくため、いただいた貴重なご意見を参考にしながら検討を重ねていきたいと考えております。また、皆様の自由なご意見を伺うための機会づくりについても、外来待合

室に設置した投書箱以外に、定期的なアンケートを実施するなど、新たな方法を検討中です。

■今回の投書



待ち時間が長いので、何とかしてほしい。



この点については以前よりご指摘をいただきおり、患者様にはご迷惑をおかけしております。そこでこのたび、これまでに行ってきた業務や設備の見直しを一步進めるべく、巻頭の特集にもあるように、外来診療に一部予約制を取り入れることにいたしました。最良の予約システムを確立するため、今後とも検討を重ねてまいりますのでご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

訪問看護ステーション 「あいしん」だより

「訪問看護婦のお仕事拝見」

訪問看護婦は、患者の皆様が病気と上手につき合いながら、自分のしたいことを実現していただくためのお手伝いをさせていただいております。今回は、私たちの毎日の仕事の一例をご紹介しましょう。

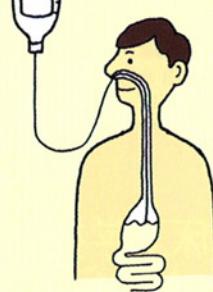
- ①Aさんは飲み込む力に障害があり、口からご飯を食べることができません。



でも、家に帰るのはまだちょっと不安だな。何かトラブルがあったらどうしよう

それなら、訪問看護婦に行ってもらいましょう

ハーハー



- ②そこで、「経管栄養」という、管を使って胃に直接栄養を入れる方法をとっています。

それなら、奥さんに経管栄養の方法を覚えてもらわなくっちゃ

- ③入院が長くなったAさんは、どうしても自分の家で生活したいと考えました。

こんな感じかしら



家に帰りたい。



- ⑤退院を目前に、奥さんは不安になり、訪問看護婦が行くことになりました。

400mlを1日の量にしましょう。管は1週間に1度取り替えるようにしてください



わかりました。引き続きこのような計画で実施していきます

- ⑥訪問は医師の指示によって行なわれます。看護婦は予め看護計画を立て、医師に対し看護状況の報告を密に行います。



- ⑦散歩やリハビリテーションも訪問看護婦が一緒に行ないます。家で過ごすことにとっても満足しているAさんです。

管が詰まっても、来てもらえるから安心ね

うん！本当に安心



- ⑧週に1度の訪問の他、24時間連絡をとることができるため、突然のトラブルにも対応できます。

編集後記

人々の興味が多様化している現代、“年齢・性別をこえた幅広い層の人々が、ひとつの共通したテーマに関心を寄せる”といった事が少なくなってきた。そんな中、“旅行・食事・健康”的3つは、形を変えながらも常に人々の関心を集めつづけている。食について言えば、バブル時代の贅の限りを尽くしたグルメブームは、“体に良い食事の探求”に姿を変えている様だ。“おいしい病院の食事”を目指す事は、ある意味で流行の先端を行っている事なのかもしれない。

医療法人社団 愛心館

〒065-0027 札幌市東区北27条東1丁目1-15 TEL(011)752-3535

発行／医療法人社団 愛心館
発行日／平成11年7月1日
編集／広報企画サービス課
発行責任者／高橋 順一郎